

在鸣门 第 87 期

参加广播电台的早间节目有感

5月28日，课里的同事接到四国放送电台编制部的传真，内容是关于邀请我参加6月1日的早间访谈节目“环球新闻AI”。听到这个消息后说实话，我很是犹豫了一段时间。副课长也表示了，完全依照自身意愿。以前虽然接受过一些采访，但是上这样的现场节目，我完全是一个白丁，一点儿经验都没有。而且我也是个遇事容易紧张的人，很害怕在现场出现什么状况导致整个节目砸锅。可是，对于这种全新的体验，我又有点向往和期待。而且，我也希望通过这种方式交到更多的朋友，扩展我的交友渠道和空间。国际交流的工作，首先就是从交朋友开始的，这是我一贯的理解和工作的方式。于是，在犹豫和纠结中，最终决定参加这个早间节目。

6月1日早上7点半，超级亲切的副课长亲自开车来接我赶往位于德岛市内的四国放送。在节目开播前不到一个小时，我们到达了目的地。出门迎接我们的是编成制作部的林敬部长。怎么看都觉得是个中国人的名字，而且还接近于女性的名字，当时就觉得很有意思。然而更有意思的是，林部长带我们进入工作场地时首先向我介绍的是厕所的位置。当场傻眼的我无辜地看向副课长，在之后等待的过程中，我将心底的疑问告诉了前田副课长，这才知道日本人紧张的时候都会想要上厕所，所以林部长想当然地认为我会紧张，所以先告诉我厕所的位置。其实我也想当然地认为我会紧张，但事实竟然是我没有紧张，很自然地进入直播室，自然地跟主持人打招呼，回答他们提出的问题。当然那位叫远藤的主持人也非常专业，总是能自然地接上话题，即使在我遇到突发问题而无法正常回答的时候。不管怎样，25分钟的节目很快就结束了。临别时，林部长送了两条四国放送的小毛巾给我以表谢意。

真是一次轻松愉快的体验，它让我的人生又增添了一点色彩，因为这毕竟不是人人都能参加的活动。我将把这次回忆珍藏在心中，并感谢那些给予我这次机会的人们。

ラジオ番組出演感想

5月28日に四国放送ラジオ編成制作部から6月1日に私に四国放送ラジオ番組「土曜ワイド徳島」の「ワールド・ニュース・アイ」のコーナーに出演してほしいとの依頼のファックスが届きました。正直、この依頼を受けるかどうかとても迷っていましたが、副課長に自己意思で決めてくださいと言われました。取材のインタビューを受けたことがありますが、生放送の番組に出たことがなく、完全な素人です。そして、何かある時に緊張しやすい性格なので、現場で緊張して番組を壊すかもしれないと思い、とても心配していました。しかし、今までなかったことを体験できることに少し楽しむ感情も生まれ、このきっかけでもっと多くの人々と友達になり、自分の視野を広められると思っていました。国際交流というのは友達を作ることから始まるというのが自分の理解と今までずっとしてきた仕事のやり方です。最後に、迷うことをやめて、出演することにしました。

6月1日の朝7時半に、とても親切な副課長に車で迎えに来ていただき、徳島市内にある四国放送に向かいました。そして、番組開始1時間前に着きました。迎えに来てくださったのは編成制作部の部長さんで、名前は中国女性の名前らしくて面白いと思っていましたが、もっと面白かったのは最初に紹介してくださるのがトイレの位置だったことです。出演を待っている間に副課長に何故トイレをわざと紹介してくれたかと聞きました。そして、日本人が緊張するとすぐトイレに行くから、部長さんは私が緊張していると思い、教えてくれたと副課長は答えました。自分も緊張するのが当然だと思っていますが、緊張せずに部屋に入って、自然に挨拶して、アナウンサーの質問に答えていました。そして、アナウンサーの遠藤さんはとてもプロで、番組の流れをコントロールしながら私の話を上手く誘導し、突然の質問をされて上手く答えられない私にフォローしてくださいました。遠藤さんのおかげで25分間の番組はあっという間に終わり、最後に部長さんから記念に四国放送のハンカチをいただきました。

普通の人ができない体験をさせていただき、とても貴重な人生経験だと思っています。このすばらしい思い出を一生忘れず、そして、このチャンスをくださった人々に感謝し続けます。

端午节

6月12日是农历五月初五，在中国，这一天是传统的端午节。然而对于身在异国他乡的我，既没有粽子、咸鸭蛋吃，也没有龙舟赛可以观看，就只能打个电话回家，通过电波祝福家人了。

中国的端午节，传说是为了纪念战国时期的楚国诗人屈原，他在屡受国王排挤和流放的情况下于五月五日投现今位于湖南境内的汨罗江自尽。附近的百姓打捞尸体未果后，为防止河鱼吃掉屈原的身体而纷纷将家里的米团投进江中，这样演化成了吃粽子的习惯。而屈原投



江当天，江面上所有小舟在雨中出动打捞尸体的行动也慢慢演变成了赛龙舟的习俗。当然，端午节里，除了这些以外，还有挂菖蒲、带香囊等其他习俗。



而且，各地还有一些不同的风俗习惯，比如江苏省嘉定县民必买鲤鱼煮食，湖南省攸县县民家中有孕妇者必备酒食、竹夹等供于龙舟之龙首以保安产等。

而在日本，端午节又称儿童节，是男孩子的节日。这一天有男孩子的家庭，竖起鲤鱼旗，吃粽子和柏叶饼来祝贺。竖鲤鱼旗是希望孩子像鲤鱼那样健康成长，有中国“望子成龙”的



意思。从下面看鲤鱼旗，浮现在蓝天下的鲤鱼很像在水中健壮地游。另外，为了避邪，把菖蒲插在屋檐下，或将菖蒲放入洗澡水中洗澡。端午的习惯是在日本的平安时代以后由中国传入日本的。

中日两国的交往颇有渊源，有着这样深刻关联的两个国家实在是应该世代友好相处下去啊。

端午の節句

6月12日は中国の旧暦の5月5日で、端午の節句です。日本にいる私には、粽も食べられなくて、ドラゴンボートもないから、両親にお祝いの電話をするしかありませんでした。

中国の端午の節句が戦国時代の楚の国の有名な詩人一屈原を記念するための祝日だと言う伝説があります。当時、国の王様に嫌われ、同僚に陥れられ、遠い所に流刑に処されました。そして、5月5日に今の湖南省にある汨羅江に飛び込んで自ら命を落としました。屈原を愛している国民たちは先生の死体を捜していたが、見付かりませんでした。先生の死体を川魚に食べられてしまうことを防ぐために、川に米団子を投げました。そして、だんだん5月5日に粽を食べる習慣に進展変化しました。また、当時、近所の人々は船で先生の死体を捜していたことはだんだんドラゴンボートレースをする習慣に進展変化してきました。

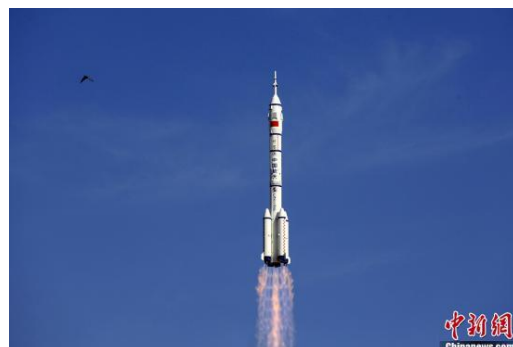
端午の節句に菖蒲を飾ったり、香料袋を掛けたりする習慣もありますが、地方によって違う風習もあります。例えば、江蘇省嘉定県民は必ずチョウザメの煮と言う料理を食べ、湖南省攸県の妊婦さんがいる家庭は安産のためにお酒とご馳走をドラゴンボートの頭に安置します。

しかし、日本には、端午の節句は男の子の日です。この日、男がいる家庭は必ず鯉のぼりを飾って、粽などを食べます。子どもに元気で育ってもらうために鯉のぼりを掛けますが、中国語で「望子成龙」の意味です。そして、魔よけするために、菖蒲を軒の下に掛けたり、菖蒲湯でお風呂入ったりします。端午の節句は日本の平安時代以降に中国から日本に伝わりました。

中国と日本はこんなに関係が深い隣国だから、世々代々友好を深めるべきだと思っています。

今月ニュース

◆搭載着三名航天员的神舟十号飞船于6月11日在甘肃酒泉卫星发射中心成功发射。此次，三名航天员将在太空生活15天，开展多项航空医学实验、技术实验及太空授课活动。这是神舟飞船的第十次发射。距离航天员杨立伟乘坐神舟五号飞船首飞太空恰好10年。这一期间，共有10名中国航天员进入太空。



6月11日、3名の宇宙飛行士が乗っている「神舟10号」有人宇宙船の打ち上げに成功しました。今回、宇宙飛行士は15日間滞在して、いろいろ実験を行う予定があります。今回は宇宙船の打ち上げ、10回目で、初めて有人宇宙船に乗った宇宙飛行士の楊立偉が宇宙に行ってから10年が経ちました。この10年間で10名の宇宙飛行士が宇宙に飛びました。

◆6月23日在柬埔寨召开的第37届世界遗产大会上，新疆天山、云南哈尼梯田等19处世界各地名景经过审议，正式列入联合国教科文组织世界文化遗产名录。同时入围的还有日本的象征-富士山。



云南哈尼梯田



日本富士山

2013年6月23日、カンボジア・プノンペンで開催の第37回世界遺産登録の審議が終了し、中国の新疆ウイグル自治区の天山山脈、雲南省にある紅河ハニ棚田など19カ所が新たに世界遺産に登録されました。日本の象徴である富士山も登録されました。

所属：鸣门市观光振兴课

地址：鸣门市撫養町南浜字东浜 170
(〒772-8501)

TEL: 088-684-1746

FAX: 088-684-1339

E-mail: kokusai@city.naruto.lg.jp

编辑：刘蓉